

夜間景観（案） S=1:1000 (A3)

【夜間景観の考え方】

花・緑・彫刻をライトアップする「光のミュージアム構想」に基づき夜間景観を形成する。

- ①「みちひろば」は、神戸らしさをイメージしてデザインされた歩道照明、樹木のライトアップ、花壇や水辺、彫刻のライトアップに加えて光のベンチを設置し、光をつなげ、人を誘う。また、「KOBELIGHTUPDAY」に合わせた光の演出により夜間景観を彩る。
- ②「見晴しひろば」は、ライン照明（テラスや芝生ベンチ）により立体的な地形の魅力を活かす夜間景観とする。地下街への出入口のリデザインにより、構造物を活かした公園の顔となる夜間景観とする。
- ③「慰霊と復興のモニュメント」の周辺は、静謐な空間としながら足元の安全性にも配慮した夜間景観とする。（フットライト等の設置）
- ④「芝生ひろば」は、光害を抑制し、下方の明るさを効率的に確保する夜間景観とする。（ポール照明灯等を効率的に設置）
- ⑤旧居留地側は、東町筋・仲町通に開かれたやエントランスを中心に街並みに調和しつつ階段状地形を活かした立体的な夜間景観とする。（ガーデンライトやフットライトの設置）
- ⑥にぎわい拠点施設の建物の明かりを有効活用する。
- ⑦南側は、税関前歩道橋のタワーや橋上のライトアップと調和する夜間景観とする。
- ⑧彫刻や景観木、花壇をライトアップする。

⑤旧居留地側のライトアップイメージ

②見晴らしひろば周辺のライトアップイメージ

⑤旧居留地側の街並みと調和し、高低差のある地形を活かした立体的な夜間景観

仲町通

東町筋

にぎわいのあるライトアップを検討中

⑦税関前歩道橋のライトアップと調和する夜間景観

⑧静謐な空間としながら足元の安全性を高める夜間景観

⑥にぎわい拠点施設「URBAN PICNIC」のあかりのしみだし

②ライン照明等により立体的な地形や地下街出入口等の構造物を活かした公園の顔となる夜間景観

①神戸らしさをイメージする歩道照明、樹木のライトアップ、花壇・彫刻のライトアップ、光のベンチ設置や「KOBELIGHTUPDAY」に合わせた光の演出

⑥にぎわい拠点施設の夜間景観イメージ

①みちひろばのライトアップイメージ

- 税関線前歩道橋
- ⑧慰霊と復興のモニュメント周辺の夜間
- ⑥にぎわい拠点施設の夜間景観イメージ
- ①みちひろばのライトアップイメージ
- ②見晴らしひろば周辺のライトアップイメージ
- ⑤旧居留地側のライトアップイメージ

- 広場照明
- ライトアップ
- 建築の照明
- 歩道照明（新設）
- 歩道照明（既設）

※引用：公募対象施設に関する計画

水のライトアップ

樹木のライトアップ

光の演出

花時計や彫刻のライトアップ